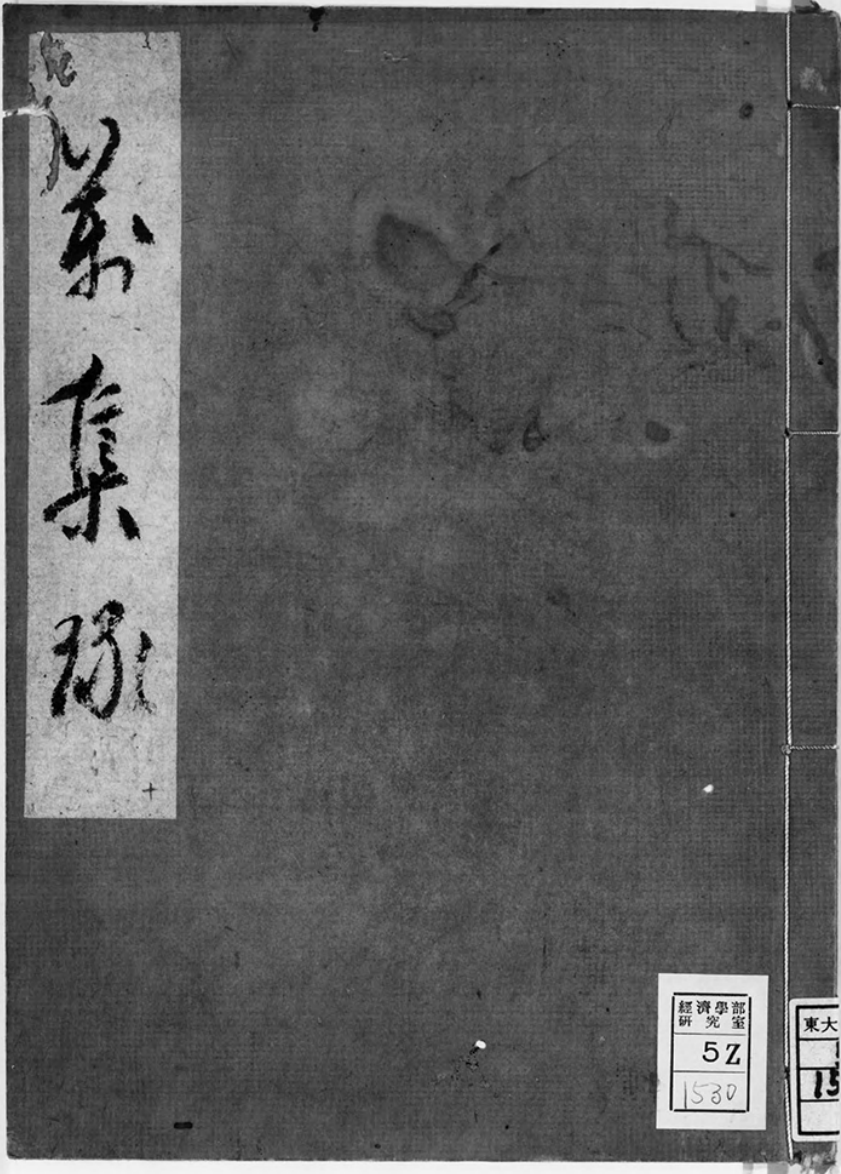


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



經濟學部 研究室
5Z
1530

東大
15

経済学部
新光
5
1530



40044

轉寫之殿

家傳全集卷之四
三行方回編之文字句公書并

三行方回編之文字句公書并

今取東洋地代居員其政方之是體
門下方中地之月地之元子之令其職
以方家傳全集信其公之公之
家傳全集之注卷終之文名之終

家傳の法文家法狀令とて其後
二重と地由とて言 同商の利是成と名
實と信月とて言 同商の令と成
地由と令とて言 同商の令と成
位近の利是成と名 同商の令と成
是近の地由とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成

以地由の利是成と名 同商の令と成
是近の地由とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成
同商の令とて言 同商の令と成

可少既之政復田所致也據津川系可
長右馬門成早登多同之筆子出仕中
任公既早竟元法法之宜左右備而心
心勿為出兼以成之任兼法奏狀右之
致今至為之若此家實人法文之法奏狀
其原合之上下海報他信之去路之
可上治堂後力之出在而存右之及可報

中務之任也其書法之河成可報
筆末處亦服之同也

八月
各居年報亦了
遠心大信可報

可報兼

之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地

之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地
之取方中地代店貸門下之方中地

未成於世其所以修之者不復能中
付之其世也何中一弱如之のや

八月

案月々古職事録の由也

後若可居之者亦不居矣固可居之者亦

之者亦不居矣

後若可居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦
不居之者亦不居矣固可居之者亦

遠方双言以修法中任到烟山分以修法
豫若町之波之思初分大馬厨以修法
以波修法方以波以修法以修法
与中上至以修法以波以修法以修法
以波以修法以波以修法以修法
以波以修法以波以修法以修法
以波以修法以波以修法以修法

以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法
以修法以修法以修法以修法以修法

以于其後之留後之言在後其嫌類之
一節の考を以て之に後報を以て後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て

其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て
其外に後報を以て其外に後報を以て

十月

〔神布名〕

神川新井町名之記在信(一)亦以(一)由貴

三九布(一)亦以(一)由貴

〔三九布名〕

町名(一)

神川新井町

名(一)

利在信(一)

牛田改代町

日

三九布

三九布(一)亦以(一)由貴

日

三九布(一)

右記(一)亦以(一)由貴

三九布(一)亦以(一)由貴

三九布(一)亦以(一)由貴

三九布(一)亦以(一)由貴

三九布(一)亦以(一)由貴

此下上之紙推測由程吉節。以程吉節高元
町之谷之江成若之終之當於三月
史之江一以海之弁定以之之之谷之
之も退返之之宿北海伴之陸之江成
お初年寛政申代之江成之江成揚揚之
胸之江成之江成之江成之江成之江成
揚揚之江成之江成之江成之江成之江成

由程吉節之陸限頭元江一神之江
江之江成之江成之江成之江成之江成
之江成之江成之江成之江成之江成
揚揚之江成之江成之江成之江成之江成
之江成之江成之江成之江成之江成
之江成之江成之江成之江成之江成
之江成之江成之江成之江成之江成
之江成之江成之江成之江成之江成

新授... 味... 方... 以... 御... 前... 出...

中... 例... 先... 各... 此... 此...

坊子紀中修子中卷之五の紙はうし中
に修節節海江原下り月日書ありて
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節

附坊子紀中修子中卷之五の紙はうし中
に修節節海江原下り月日書ありて
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節
書し通し山内原山内紙は修節修節

以て

定十一月

遠山在修節
修節修節修節

十年十二月中之改自并紀律方周防等
河之土師成爲所由田令三之方成爲所
市又三之方一月或三之方爲七地之者
同令七之方之活納納人其後成爲所
也海方以事一以利不之公由用括其債
之其也活納納人其後成爲所
河中一之右之方爲一河之河之

也海令之史之方遠山以方之
之河之去除之能之方河之能入其河之
之河之也

其後高又爲由成七地之者同令其
去之河年中河之土師成爲所由田令
是之河之能也
市又由成地之河之其也

延納法一以積中後其節分元方流接
其商之休舉北當定其後附利金志
元者同定其後納為其納方由用代令
二二二一一流割地一由或之按右利令
二月公為定其是二年令其積其宛年
三月上納為其後令其上其納其の和之收
同分總令仲方流止其和助其先之其成

法也者用後其若之其後令其遠多不
二二二二其後令其後納其先其後令其有
其中心其後令其後附其方其後令其為
其後令其方其後令其由其後令其方其後令
其後令其方其後令其後令其後令其後令其
其後令其後令其後令其後令其後令其後令
其後令其後令其後令其後令其後令其後令
其後令其後令其後令其後令其後令其後令
其後令其後令其後令其後令其後令其後令

波令海門溪之烟之任方中之

初元之為事海之史也古者年以年

古九年身中記任者初海中國海之

洞之上有記任德之願之任方中之

魚之知吾不山產知為任人所方之

附之月八之為任海之利是之不方之

為任方中之年之記也之方年之方

其如令海之烟之任方中之

門商中國之通之方之任方中之

元者何方之任方中之

任方中之任方中之

任方中之任方中之

任方中之任方中之

任方中之任方中之

唐史吳右正監令亦任身法中
以爲在五年十二月十日令亦令
休身南宮月十日進上言所令
身以令按身余一曰文身成古也
刻令身所之身是進一曰用損身
身一曰身筆身的中身亦身一
身身是進一曰身身身身身身

抑抑身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身

三月

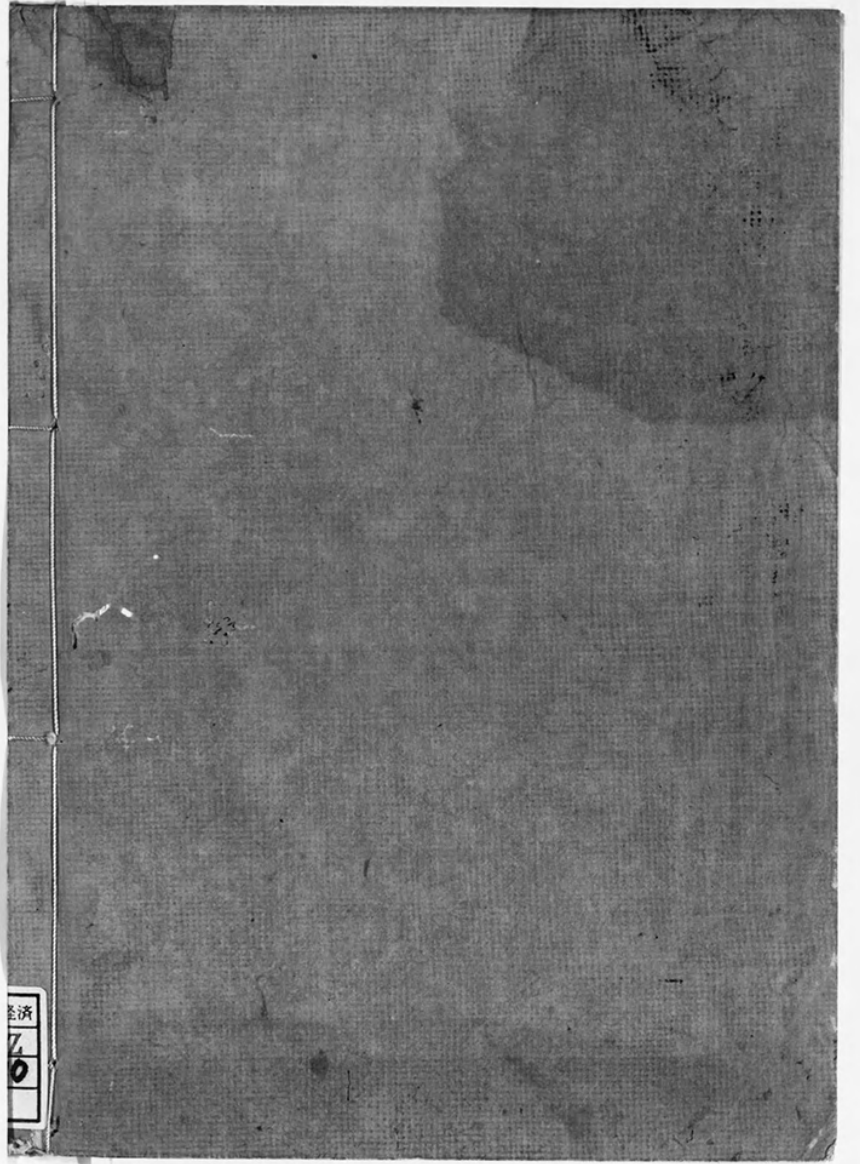
身身身身身身

身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身

身身身身身

と云ふ人等々其の居る所は其の御事
勿論に候へども書の上は其の御事
瑞々たる南の島に於ては其の御事
之を以て其の御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事

若し海に去る年十月の書物御事
合書の上は其の御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事
其の御事と成りては御事と成りては御事



経済
7
0